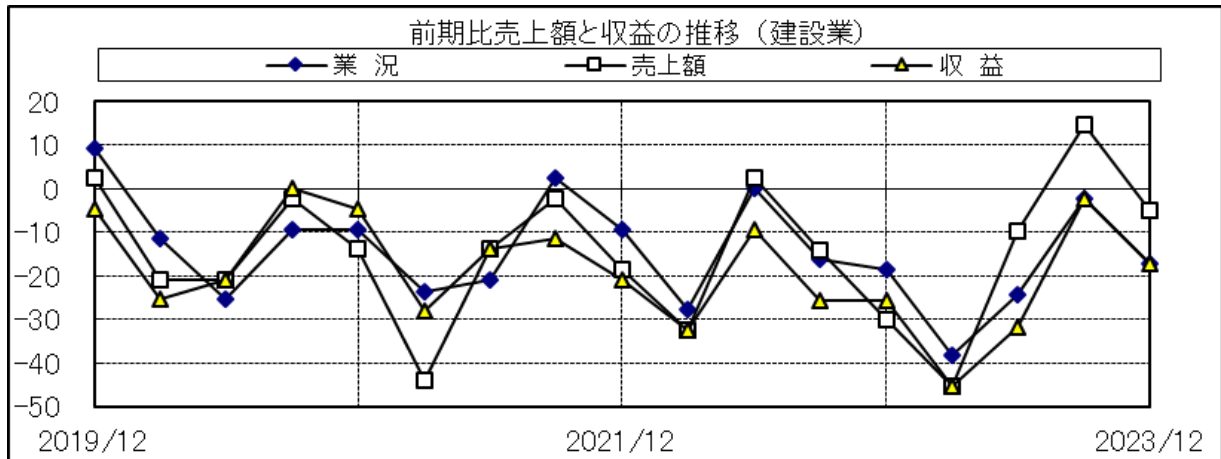


# 建設業 41 企業 (回答率 100.00%) の調査結果です

## □ 景 況

DI 値 の推移	4~6 月 期実績	7~9 月 期実績	10~12 月 期実績	1~3 月 期見通し
業 況	-24.4	-2.5	-17.1	-26.9
売上額	-9.8	14.7	-5.0	-26.8
収 益	-31.7	-2.5	-17.1	-29.3

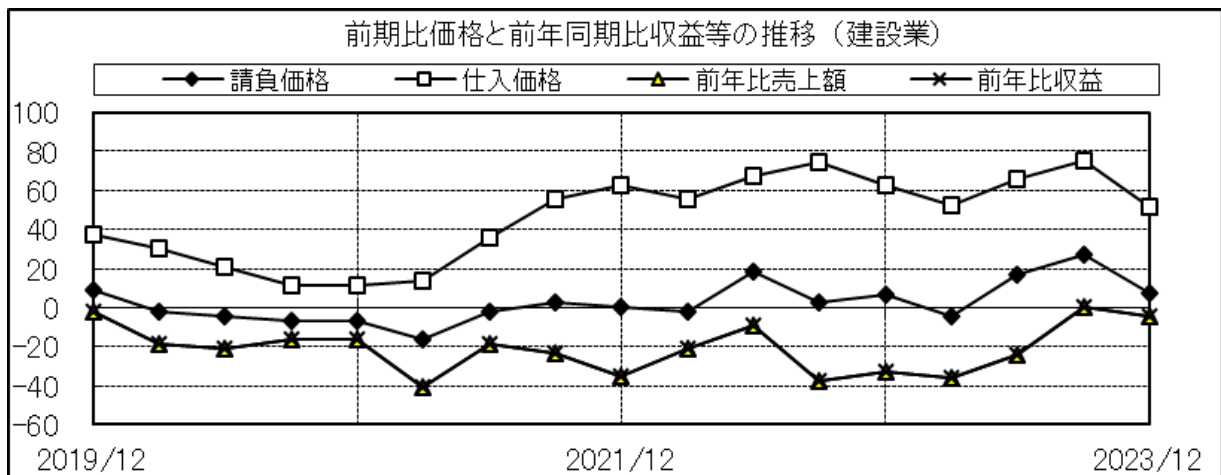
今期の業況判断 D. I. は△17.1 で、前期比 14.6 ポイント下降、前年(△18.7)比で 1.6 ポイント上昇した。地区別 D. I. の水準は高い順に、えりもが最も高く、次に様似・静内が同率、浦河、三石と続き、広尾が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は、△5.0 で、前期比 19.7 ポイント下降。収益判断 D. I. は△17.1 で、前期比 14.6 ポイント下降した。



## □ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	4~6 月 期実績	7~9 月 期実績	10~12 月 期実績	1~3 月 期見通し
請負価格	17.0	26.8	7.2	-7.3
仕入価格	65.9	75.6	51.2	34.1

請負価格判断 D. I. は 7.2 で、前期比 19.6 ポイント下降、前年(6.9)比では 0.3 ポイント上昇した。仕入価格判断 D. I. は 51.2 で、前期比 24.4 ポイント下降した。前年(62.7)比では 11.5 ポイント下降した。



## □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4~6 月 期実績	7~9 月 期実績	10~12 月 期実績	1~3 月 期見通し
残業時間	-19.6	-9.7	-2.4	0.0
人手状況	-48.8	-43.9	-29.4	-19.6

残業時間判断 D. I. は△2.4 で、前期比 7.3 ポイント上昇し、残業時間が増加したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は△29.4 で、前期比 14.5 ポイント上昇し、人手不足感は弱まった。

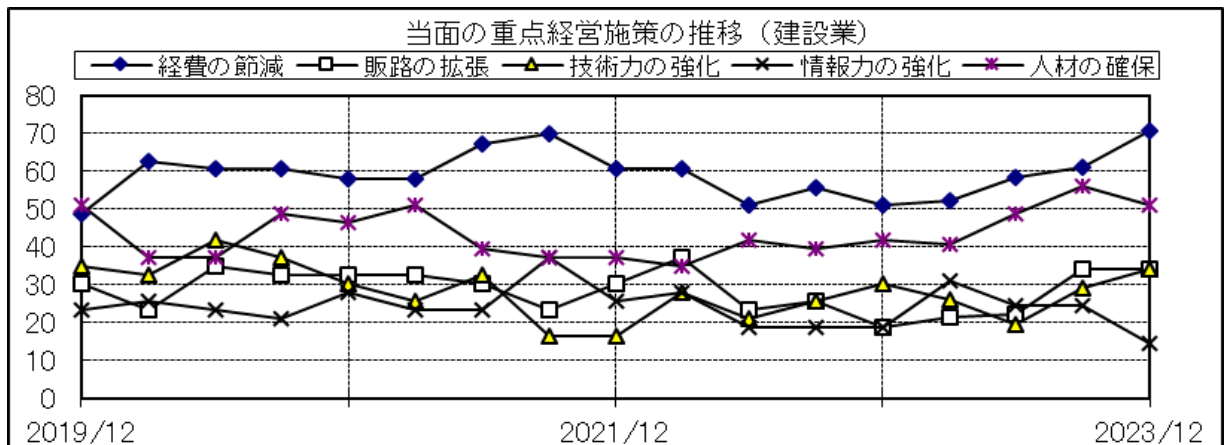
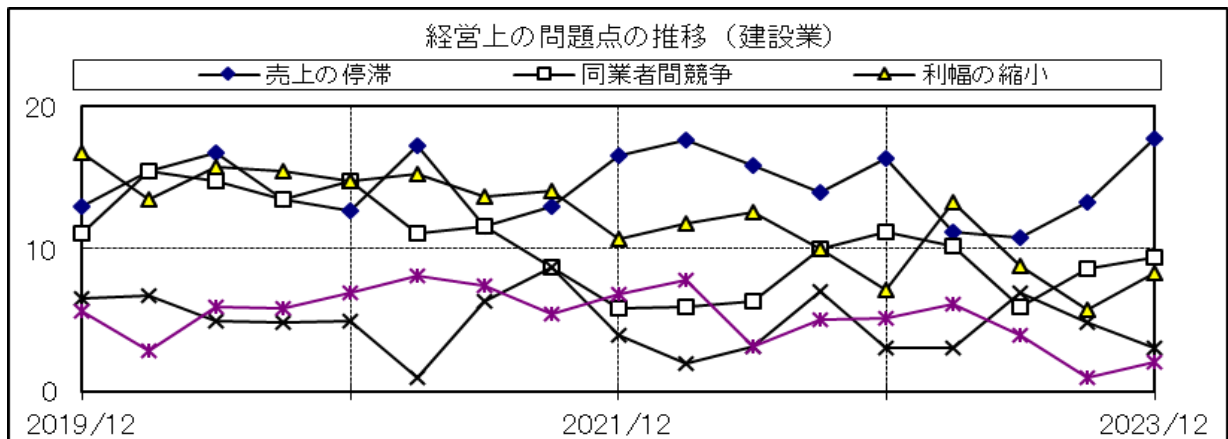
## □ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD. I. は0.0で、前期(△2.5)比2.5ポイント上昇した。  
 設備投資実施企業割合は12.2で、前期(4.9)比7.3ポイント上昇した。設備投資は、前期2社に対し、5社の実施となった。来期の設備投資は、5社の予定となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「材料価格上昇」が24.0%と最も多く、次に「売上停滞減少」・「人手不足」が17.7%、「同業者競争」9.4%、「利幅縮小」8.3%、「下請確保難」7.3%、「人件費増加」・「技術力不足」・「天候不順」が3.1%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が70.7%と最も多く、次に「人材確保」51.2%、「販路拡大」・「技術力強化」が34.1%、「情報力強化」14.6%、「新工法導入」・「教育訓練強化」・「労働条件改善」が2.4%となっている。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△26.9と、今期比9.8ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D. I. は△26.8と、今期比21.8ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D. I. は△29.3と、今期比12.2ポイントの下降を見通している。

予想請負価格判断D. I. は△7.3と、今期比14.5ポイントの下降を見通している。

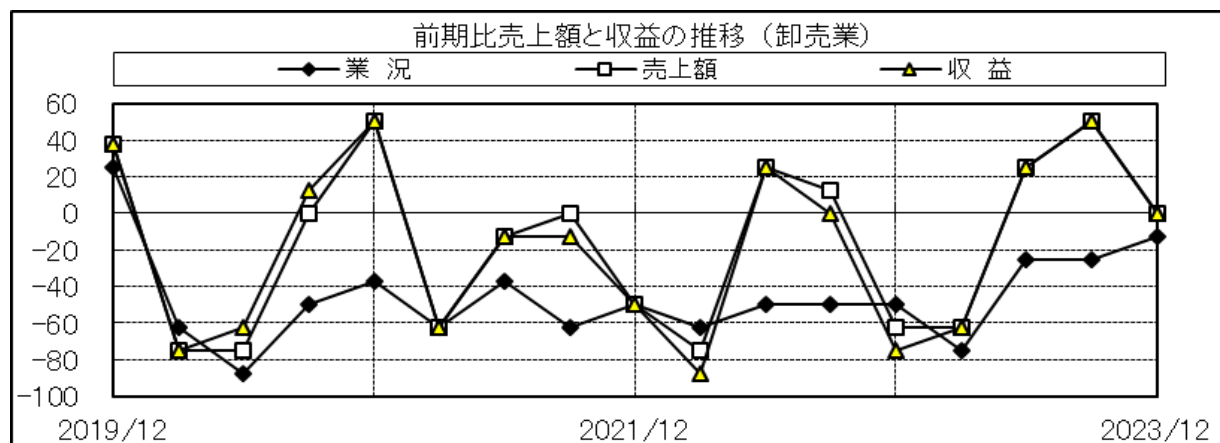
予想仕入価格判断D. I. は34.1と、今期比17.1ポイントの下降を見通している。

## 卸売業 8企業 (回答率 100.0%) の調査結果です

### □ 景況

DI 値の推移	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期見通し
業況	-25.0	-25.0	-12.5	-50.0
売上額	25.0	50.0	0.0	-12.5
収益	25.0	50.0	0.0	-37.5

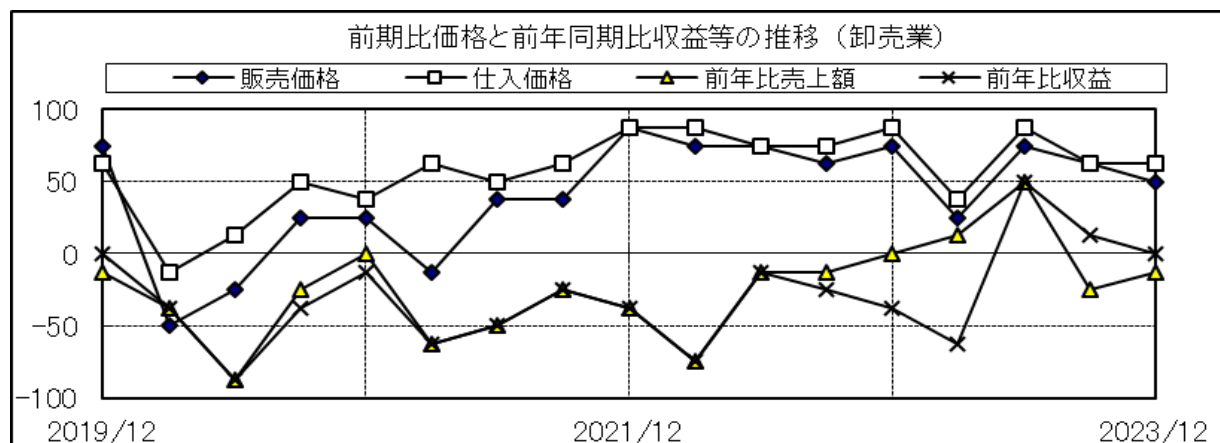
今期の業況判断 D. I. は△12.5 で、前期比 12.5 ポイント上昇、前年(△50.0)比では 37.5 ポイント上昇した。地区別 D. I. の水準は、静内地区は上昇、浦河、様似地区は横這いとなった。売上額判断 D. I. は 0.0 で、前期比 50.0 ポイント下降した。収益判断 D. I. は 0.0 で、前期比 50.0 ポイント下降した。



### □ 価格面の動き・前年同期に比べた動き

DI 値の推移	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期見通し
販売価格	75.0	62.5	50.0	25.0
仕入価格	87.5	62.5	62.5	50.0

販売価格判断 D. I. は 50.0 で、前期比 12.5 ポイント下降、前年(75.0)比 25.0 ポイント下降した。仕入価格判断 D. I. は 62.5 で、前期と同水準となった。前年(87.5)比では 25.0 ポイント下降した。業種別では、水産業は販売・仕入価格ともに上昇、食品業はともに下降した。



### □ 雇用面の動き

DI 値の推移	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期見通し
残業時間	0.0	25.0	0.0	0.0
人手状況	0.0	0.0	0.0	0.0

残業時間判断 D. I. は 0.0 で、前期比 25.0 ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増加した。

人手過不足判断 D. I. は 0.0 で、前期と同水準となり、人手不足感に変化は無かった。

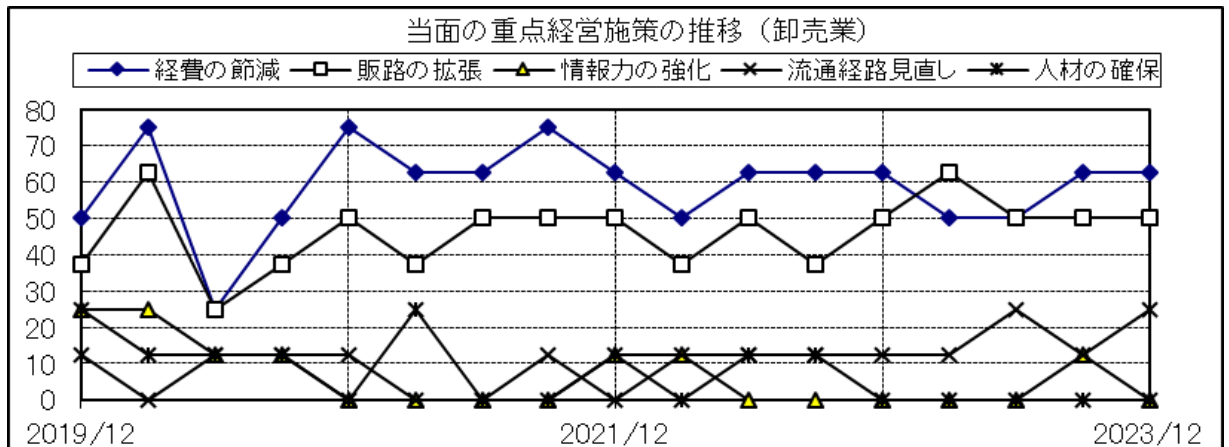
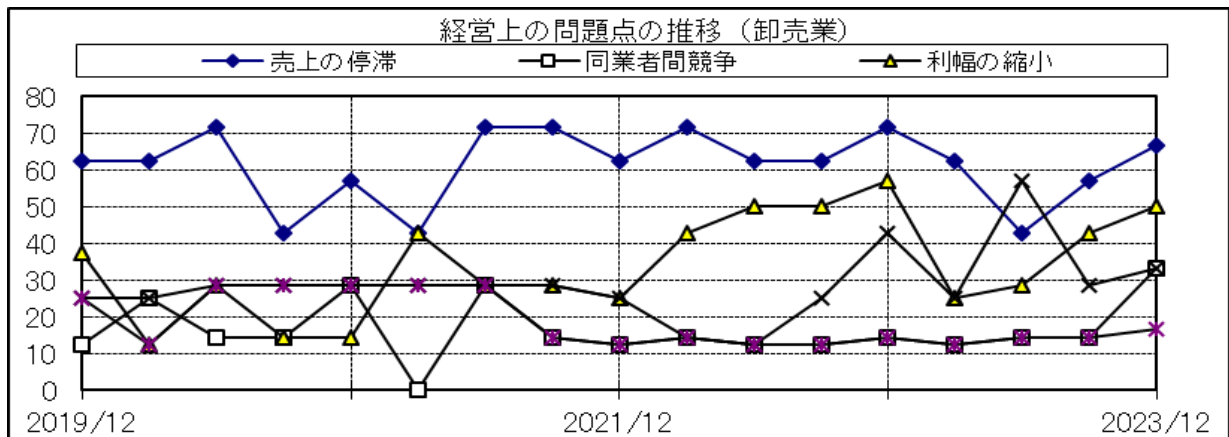
□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD. I. は $\Delta 25.0$ で、前期( $\Delta 37.5$ )比12.5ポイント上昇した。  
 設備実施企業割合は12.5で、前期(0.0)比12.5ポイントの上昇となった。設備投資は、前期0社に対し、1社の実施となった。来期の設備投資は1社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が66.7%と最も多く、次に「利幅縮小」50.0%、「同業者競合」・「取引先減少」が33.3%、「販売商品不足」・「値上要請」・「人件費増加」・「店舗老朽化」・「地場産業衰退」が16.7%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が62.5%と最も多く、次に「販路拡大」50.0%、「流通経路見直し」・「不動産有効活用」が25.0%、「新事業開始」12.5%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は $\Delta 50.0$ と、今期比37.5ポイントの下降を見通している。  
 予想売上額判断D. I. は $\Delta 12.5$ と、今期比12.5ポイントの下降を見通している。  
 予想収益判断D. I. は $\Delta 37.5$ と、今期比37.5ポイントの下降を見通している。  
 予想販売価格判断D. I. は25.0と、今期比25.0ポイントの下降を見通している。  
 予想仕入価格判断D. I. は50.0と、今期比12.5ポイントの下降を見通している。